

# 「ヒヤリ・ハット」体験事例

集計期間：平成22年8月～平成23年7月

分類：収集運搬  
事故の型：転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	先方の会社内	荷降ろしをする為コンテナ車の上に乗し、ロープを外しているとき	コンテナの上から転落し骨折した	高いところでの作業は安全帯を使用する	安全に作業が出来ている
2	施設内	廃棄物の入ったトン袋を開けてホッパーに投入する時	トン袋と共に自分も落ちそうになった	トン袋から直接ホッパーに投入するのではなく、ダンプ車に廃棄物を開けてから投入する	落下する危険がなくなり、作業がしやすくなった
3	現場	ダンプにシートをするとき	シートを掛けるため荷台に乗ったらシートで足を滑らせ転倒しそうになった	ダンプの荷台に乗らないように作業台を設置する	安全に作業が出来ている
4	施設内	手積み作業をしているとき	荷物で足元の視界が悪い状況で気をつけて運んでいる途中に足元に配管があり、つまずいて転倒しそうになった	荷物で足元の視界が悪いときは、2人で運ぶなど対策をしてから作業を行うようにする。また、作業前に通路の安全確認を行う	安全に作業が出来ている
5	施設内	飛散防止用ネットをかけているとき	荷物がふわふわしていたので、バランスを崩して転落しそうになった	荷物の安定が悪いときには、安全帯を使用するか、荷物の上に乗らないようにしてシートをかけるようにする	安全に作業が出来ている
6	施設内	トラックのキャビンの上で積込みを確認しているときに	突風がふいた為、転落しそうになった	可能であるならばコンテナを地面に降ろしてから積込み作業を行う。また、作業場周辺の状況確認と天候にも注意する	安全に作業が出来ている
7	施設内	手積み作業をしているとき	天候が雨だった為、鉄板の上で滑って転倒しそうになった	足元の危険や作業範囲の状況を確認して作業を行う。また、天候等により判断し作業を中断する	安全に作業が出来ている
8	施設内	手積み作業をしているとき	グリスが落ちていて、それを誤って踏んでしまい転倒しそうになった	足場を整理してから作業を行う	安全に作業が出来ている
9	施設内	10tコンテナの上で手積み作業をしているとき	バランスを崩してコンテナの上から転落しそうになった	足場を整えてから作業を行う	安全に作業が出来ている
10	施設内	コンテナを引き揚げているとき	中の荷物が重くて、車体が浮き転倒しそうになった	事前に内容物に対する比重を考慮し、過積載にならないよう打ち合わせを行う	安全に作業が出来ている
11	施設内	トラックで狭い道を運搬しているとき	タイヤを側溝に脱輪してしまい転倒しそうになった	狭い道路は、可能であれば無理に通らせず迂回する	安全に作業が出来ている
12	施設内	飛散防止用ネットをかけているとき	コンテナの上でネットをかけていた為、突風にあおられて転倒しそうになった	ネットをかけるときは、出来る限り2人で行き、コンテナの上ではなく地上で行うようにする	安全に作業が出来ている

13	施設内	5mのFRPを手積みしているとき	風にあおられて転倒しそうになった	重量的に問題無くても積込む際は、最大3m位まで解体・切断を行ってもらってから運ぶ	安全に作業が出来ている
14	施設内	手積み作業をしているとき	鉄板の上に少量の油がこぼれていて、その上に誤って乗ってしまい足を滑らせて転倒しそうになった	周辺及び足元の確認を徹底する	安全に作業が出来ている

分類：収集運搬  
事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	業者が廃木材を処分しに来たとき	集積場まで車をバックして入るとき、作業している人に気がつかず、急ブレーキをかけた	車がバックするときは、誘導者を常に配置する	安全に作業が出来ている
2	住宅地の路地	狭い道路を3tトラックで走行中に曲がり角が狭い為、一旦バックして方向転換をしているとき	左の死角から自転車に乗った学生が前を横切って走った。左ミラーすれすれに通りすぎた	バックする前に左の路地から学生が来ているのを確認していたので、学生を先に通してから方向転換をするべきだった	狭い道路などでは、人、自転車、バイク等を先に通させることで危険度が下がった
3	対向一車線の道路	トラックで荷物の運搬をしているとき	車の急な割り込みにより、衝突しそうになった	急な出来事に対応する為、常にかもしれない運転を心掛ける	心に余裕が持てる様になり、急な出来事にも対処できるようになった
4	和歌山市川辺交差点	収集運搬中の信号待ちのとき	脇見運転でブレーキペダルの踏み加減が甘くなり、もう少しで前の車と衝突しそうになった	収集運搬やその他の運転時は、脇見や他の車にとらわれず運転に集中する。また、適度な休憩や目を休める事で、体がリラックスでき集中力が増す	適度な休憩を取る事で、逆に運搬時間が短縮され効率が良くなった
5	施設内	ダンプを所定場所へバックで移動しているとき	ダンプが建屋内の設備に接触しかけた	建屋の外から内へ進入する時は建屋内が暗く見えにくくなる為後方確認をしっかりと行いゆっくり進入すること、また誘導者を必ず配置する	安全に作業が出来ている
6	施設内	手積み作業をしているとき	頭上の狭い場所を通過中に頭を激突しそうになった	目線より上は見えないことが多いので、作業前に危険なところがないかを点検し、危ないところがあれば対策を行う	安全に作業が出来ている
7	施設内	作業終了後現場でトラックを方向転換させるとき	柱にぶつかりそうになった	方向転換などで視界が悪いときなどは誘導者を設置するなどして対策する	安全に作業が出来ている
8	施設内	手積み作業をしているとき	足場の下を通過して荷物を運んでいるときに、頭上の足場で頭を強打しそうになった	作業開始前に必ずヘルメットの着用と作業用通路の安全確認を行う	安全に作業が出来ている
9	施設内	手積み作業をしているとき	目の高さより上の位置に荷物が飛出して、顔を切りそうになった	作業前に荷姿を確認する。突起物はないか、不安定でないか、コンテナに入る長さであるか等をチェックする	安全に作業が出来ている
10	施設内	コンテナ新設のために移動しているとき	バックでコンテナ新設予定場所に移動した為、近くに停車中の車に気づかず接触しそうになった	設置前に周辺確認をする、新設場所を変更出来ない場合は停車中車両の移動を願うようにする	安全に作業が出来ている

11	施設内	コンテナを運搬しているとき	コンテナから荷物が飛び出していた為、壁に接触しそうになった	搬出時の飛散防止シートをかけるときにチェックし、その場で自力で整形が可能であれば良いが、重機等が必要な際は担当者に必ず申し出る	安全に作業が出来ている
12	施設内	コンテナを引き揚げているとき	上部の配管の高さが低くて、コンテナが接触しそうになった	高さの低いところで作業するときは、必ず合図をする作業員を設置して対応する	安全に作業が出来ている
13	施設内	手積み作業をしようとトラックを降りたとき	サイドブレーキがあまくてトラックが動きそうになった	車を降りるときは必ずサイドブレーキが引いているかを確認して、歯止めも必ず確認する。そして、それでも危険と思うときはミッションを入れる	安全に作業が出来ている

分類：収集運搬  
事故の型：飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	工場内	フォークリフトで荷物(パレット積み)の運搬をしているとき	荷崩れした	ストレッチフィルムでしっかり固定する	安全に作業が出来ている
2	施設内	ベルコンカバーの入った10tコンテナを引き揚げるとき	後方扉がちゃんとロックできていない、コンテナを引揚げるときに後方扉が開いて荷物が落下しそうになった	コンテナを引揚げる前に後方扉のロックがちゃんとなっているかの確認や積載している荷物が飛散する恐れがあるかなどを確認する作業を忘れないようにする	安全に作業が出来ている
3	施設内	側溝清掃作業しているとき	側溝に溜まっている污泥が飛び跳ねて顔にかかりそうになった	保護具の完全着用(ゴーグル等)	安全に作業が出来ている
4	施設内	コンテナを新設しているとき	トラックからコンテナが落下しそうになった	コンテナが設置のレールに確実に積載しているかの確認をしっかりとる	安全に作業が出来ている
5	施設内	手積み作業完了後、荷物の荷締めをするとき	ロープフックにかけていた荷締め機のフックが外れて飛んできて頭に当たりそうになった	まず仮締めを行ってから全体のバランスを確認し、本締めを行う	安全に作業が出来ている
6	施設内	手積み作業完了後、ワイヤーとチェーンの締機で荷締めをしているとき	締めすぎでワイヤーが切れて顔に当たりそうになった	ワイヤーを締めすぎないように、張り具合を確認しながら作業を行う	安全に作業が出来ている
7	施設内	手積み作業をしているとき	FRP製ベルコンカバーを無理矢理コンテナへ入れようとした為、ベルコンカバーが跳ね返ってきて顔を切りそうになった	荷物の形状・寸法にあったコンテナで運搬するなどして、少しでも危険のないように作業ができるようにする	安全に作業が出来ている
8	施設内	手積み作業をしているとき	重い荷物を1人で運ぼうとした為、荷物を落としそうになった	重い荷物は無理をせずに2人で運ぶようにし、ユニックがある場合はユニックを使用するなどして対応する	安全に作業が出来ている
9	施設内	10tコンテナを引き上げるときに	フックが確実に引っかかっていないと落下しそうになった	荷物が極端に片荷になっていないか、自重でコンテナが傾いていないか、引上げフックもさることながらコンテナがガイドローラに沿って引上げられているか確認する	安全に作業が出来ている

10	施設内	コンテナを引き揚げているとき	シートをかけずにコンテナを引き揚げようとしたので、荷物が落下しそうになった	必ずシートをかけるようにする	安全に作業が出来ている
11	施設内	脚立を使って10tコンテナにシートをしているとき	滑って脚立の上から落下しそうになった	足元と脚立自体の不具合を確認する。また脚立の最先端には乗らない	安全に作業が出来ている
12	施設内	5mのFRPを2人で抱えて10tコンテナへ積み込むとき	1人が持つ枚数を誤ったので足の上へFRPが落下しそうになった	2人作業のときは、必ず声をかけあって作業する	安全に作業が出来ている
13	施設内	ドラム缶を工具を使って吊り作業を行っているとき	工具がしっかり引っかかっていなかった為、落下しそうになった	専用吊具の定期点検、使用前点検、劣化の場合は交換し、また少し荷をかけて金具の具合及びワイヤー状態を確認後吊り上げをする	安全に作業が出来ている
14	施設内	コンテナを入替えて出発するとき	後方キャストに土が残っていた為、道路に落としそうになった	出発前は荷姿及び外周を確認し、地盤が軟弱な場合は敷鉄板を設置してもらうか、軽量物であればコンパネ等で代用すると土がつきにくい	安全に作業が出来ている
15	積替保管場所	積替のため、荷降ろしするとき	コンテナ後方の観音開き扉の左右を開けたとき、木くず等が落下して足に当たりケガをした	荷物の状況を絶えず判断し、扉を開くときは徐々に開くこと、また扉からなるべく離れた状態で2人で開ける作業をする	頻度の多いケースですが、注意深くしていれば、大きなケガには至っていない

分類：収集運搬  
事故の型：挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	木のパレットを積み込みしているとき	パレットが荷崩れして挟まれそうになった	作業手順の打合せをした後に作業をする、またフォークリフト運転者の視界範囲で手元作業を行う	安全に作業が出来ている
2	施設内	手積み作業をしているとき	荷物が滑って足の上に落下しそうになった	手に合ったサイズの手袋、安全靴等の保護具の着用と作業姿勢の基本を守り作業する	安全に作業が出来ている
3	施設内	手積み作業をしているとき	荷物を荷台へ乗せるときに誤って地面へ荷物が落下して、足を挟まれそうになった	作業手順の厳守、1人で無理ならば2人でする	安全に作業が出来ている
4	施設内	10tコンテナに荷物を手積みしているとき	荷物が崩れてきて、挟まれそうになった	作業手順の厳守、全体量及び単体の重量を確認し手積み方法に問題あれば重機による積み込みとする	安全に作業が出来ている
5	施設内	ドラム缶を吊ってトラックへ積み込みをするとき	操作を誤ってトラックとドラム缶の間に挟まれそうになった	旋回方向に入って作業をしない、特に旋回操作初動時には、注意してレバー操作を行う	安全に作業が出来ている
6	施設内	手積み作業をしているとき	荷物の積み方を誤ってしまい荷崩れして、体を挟まれそうになった	多種類の廃棄物である場合は、重量があり、かつ安定感のある品物は優先的に下部に並べ、片荷にならない様注意する、積載完了後のアームにて引上げ時にも荷崩れに注意する	安全に作業が出来ている

分類：収集運搬  
事故の型：その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	手積み作業をしているとき	運ぶ途中で強風が吹いた為、荷物の上の粉塵が目に入りそうになった	粉塵の多い場所や風の強い日には、防塵マスクや防塵メガネを着用して作業を行うようにする	安全に作業が出来ている
2	施設内	手積み作業をしているとき	荷物に気を取られて、側溝に足が落ちて捻挫しそうになった	コンテナ設置場所を考慮し、場所を選べるのならマンホールや側溝近くは避ける	安全に作業が出来ている
3	施設内	パレットの手積み作業をしているとき	釘がパレットから飛び出して、その釘で指を切りそうになった	事前目視確認が不可能な場合は出ている物があるつもりで特殊手袋を使用して作業を行うか、リフト等での積み込みとする	安全に作業が出来ている
4	施設内	コンテナを引き揚げるとき	後方扉のロックが外れていた為、扉が開きそうになった	ロックレバーは確実に最終位置まで作動させ、固いからと途中で放置しない	安全に作業が出来ている
5	施設内	コンテナを引き揚げるとき	荷物が過積載でコンテナが引き揚げられず、脱着装置が故障しそうになった	比重の重い荷物などを積むときは、過積載にならないようにコンテナの内側にラインを引くなどして対応する	安全に作業が出来ている
6	施設内	4tコンテナを引き揚げるとき	路面がアスファルトで、コンテナの後方キャストの片側が回らなくて、もう少しでアスファルトを削ってしまいそうになった	作業前には必ず不備が無い確認し、あれば整備する	安全に作業が出来ている
7	施設内	FRPを手積みしているとき	飛び出していた金具で手を切りそうになった	解体FRPは切断した所がとがっていたり、取付用ビス等が突き出ているので、事前対策を行い皮手袋を使用し、作業を行う	安全に作業が出来ている
8	施設内	重い荷物を手積みしているとき	持ち上げる際にぎっくり腰になりそうになった	台車での運搬やユニックでの吊込みなどを提案し、人力以外方法が無い場合は、KYを確実にを行いリスクを低減させる	安全に作業が出来ている
9	施設内	手積み作業をしているとき	鉄くずで手の指を切りそうになった	事前確認で人力での積み込みが危険であるならば重機あるいはオレンジ付きコンテナ車に変更してもらう	安全に作業が出来ている

分類：中間処理  
事故の型：転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	工場内	金属仕分けの為、ガス溶断しているとき	移動の際、ガスホースが足に絡まり転倒した	まずは、仕分けを行い、仕分けた荷物を取り除いてから溶断作業にかかる	作業が効率的になり、足場も自由になった

2	施設内	パワーショベルのボンネットの上で、オイル交換をしているとき	足を踏み外し、転落しそうになった	足元の点検をし、油などが付いていないか気を付ける	作業前の安全点検をするようになってからは、どんな作業も安心して行えるようになった
---	-----	-------------------------------	------------------	--------------------------	--

分類：中間処理  
事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	作業を終了しコンボを定位置に移動するため、旋回したとき	旋回内に作業員がいて当たりそうになった	旋回内にどうしても入らなければならないときは、声かけを必ずする	スムーズに作業ができています
2	施設内	保守点検作業をしているとき	機械等に頭などをぶつけ怪我をしそうになった	どんな時もヘルメットを着用し作業する	スムーズに作業ができています

分類：中間処理  
事故の型：飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	プラスチックの破碎をしているとき	プラスチックを破碎機に投入したとき、想像以上に自分の方に破碎物が飛んできた	破碎時は出来るだけ機械から離れ、保護メガネ等を付けて作業するようにする	スムーズに作業ができています
2	施設内	廃棄物を手選別しているとき	手袋が布製だったので、手に廃棄物が刺さり怪我をした	手選別は手元に注意し、皮手袋などを使用する	スムーズに作業ができています

分類：中間処理  
事故の型：挟まれ・巻き込まれ

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	施設内	選別作業中、コンベアが故障してラインが止まったとき	コンベアのローラーに手を触れようとしたとき、別の作業員がスイッチを入れてコンベアが動きだした	ラインの操作者は、ライン起動時必ず人数の確認及び運転の合図(声かけ)を行ってからラインを起動させまた、コンベアラインの修理作業を行うときは、関係者に連絡し操作盤には、修理中・操作禁止の表示を行う	関係者に対する「修理中」連絡の徹底、操作盤に表示することにより、誤って起動することがなくなった

分類：中間処理  
事故の型：その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策	対策結果
1	工場内	フレコンバックの入れ替えをするとき	フォークリフトのサヤが工場内の柱に当り、その振動により火災報知機が誤作動した為、工場内は作業中止になった	リフトマンは、安全確認を徹底し、補助作業員は、大きな声で合図する	スムーズに作業ができています
2	施設内	ピンを袋から出しているとき	割れた破片が手にささった	革手袋を使用し、素手で作業しない	スムーズに作業ができています
3	施設内	炉扉前で、点検口を覗いているとき	炉内で爆発があり、点検口から火柱が出てきて火傷しそうになった	防護メガネ等を着用し目を守る	爆発が起きても安心して点検ができる